## 平成27年度

# 白石町3月補正予算説明資料

主要事項内容説明書

## 目 次

## 各課の主要事項説明

### 《 一般会計予算 主要事項説明 》

## 【総務課】

区分		平成2	7年度 3	月補正	会計	一舟	<b>设会計</b>						単位:千円
款		2	項 1 目 10				細事業名	地方公共	地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業 所属				
目	目 名 称 情報化推進費						財	源	訳			予算書頁	
	算	4-		22	2,347		国庫	県費	地方債	その他	一般財源		27
予		額	本年度当初		-, <b>-</b>	0		6,950			15,397		新 規
(人と		白石町総 がうるおし	合計画 い輝く豊穣 <i>0</i>		基本計画 5 6 章	参加と協働で第	<b>軽く町民主体のま</b> な	5【町民参加・町	民協働】 基本計 第 2	画 健全な行則 節	<b>才政運営の推進</b>		

日本年金機構の情報流出事案を受け、総務省において、マイナンバー制度の本格稼働を見据えて、地方自治体の情報セキュリティに係る抜本的な対策が行われることになりまし た。そこで、市区町村を対象で行われる自治体情報システムの強靱性を向上する事業(マイナンバーによる情報連携に活用されるLGWAN環境のセキュリティ確保に資するため、 LGWAN接続系とインターネット接続系を分割など)が行われることとなり、対象となる事業に対して補助金として交付されることとなりました。

本町において、総務省から提示された情報セキュリティ対策の指針に従い、庁舎内の情報化セキュリティの強化を図るべく、LGWAN接続系となります庁舎内の内部情報系システ ム(財務会計・文書管理・庶務事務など)で利用する事務用パソコンについては、インターネット接続からの分割を行います。また、マイナンバー事務系となる杵藤広域電算センター の端末についても、二要素認証におけるID・パスワード以外での認証の設定、及び情報持ち出し禁止設定も行うように併せて行います。

今回の事業実施に伴い、特にインターネット上のホームページ閲覧や電子メール送受信については、クラウドによるインターネット環境や無線LAN環境構築し、庁舎内の情報化セ キュリティ強化対策を行いつつ、現状のインターネットを介しての事務処理についても、事務の停滞を招かぬように行います。

#### 2 事業変更内容

#### 13 委託料

①庁舎内ネットワーク設定変更業務委託料

※LGWAN接続とインターネット接続の分割する設定変更作業

2.565.550 円 × 1.1 = 2.770.794 円

②インターネット閲覧環境システム構築業務委託

・クラウドによるインターネット閲覧及び電子メール送受信環境の構築 3,217,200 円 × 1.1 ≒ 3.475.000 円

・インターネット用無線LAN環境等整備

 $10.126.850 \ \square \times 1.1 = 10.937.000 \ \square$ 490.200 円 × 1.1 ≒ 530,000 円

・インターネット経由でのデータ交換領域整備 ③杵藤広域圏電算センター情報セキュリティ強化対策委託

※杵藤電算センター端末については、二要素認証の設定、情報を持ち出し出来ない

#### 14 使用料及び賃借料

①クラウドによるインターネット閲覧環境等システム使用料

・クラウドによるインターネット閲覧仮想環境システム使用料 180,500 円 × 6 ヶ月 × 1.1 ≒ 1,170,000 円

クラウドによるインターネット電子メールシステム使用料

59.100 円 × 6 ヶ月 × 1.1 ≒ 383.000 円

> 計 1,553 千円

計

2.771 千円

14,942 千円

3.081 千円

20.794 千円

#### 地方公共団体情報セキュリティ強化対策費 補助金

補助対象経費又は補助基準上限額のいず れか低い方の金額の2分の1を補助金とし て交付

補助基準額上限額 人口10万人まで 人口(H27.1.1) 【積算】

10.000千円+24.746人×158.0円/人 =13.900千円(補助基準上限額)

補助金額:6,950千円

#### 3 補正予算額

13. 委託料 20.794 千円 14. 使用料及び賃借料 1,553 千円 22.347 千円

区分		平成2	7年度 3月	月補正	会計	— 舟	<b>设会</b> 計						単位:千円
款		3	項	1	目	1	細事業名	国民健康保険事業費					住民課
	名	称		ᄽᄼᅓ	ā祉総務費		仙事未有	国				所属	正八昧
	11	ብላ <b>ን</b>		11 五 11	田仙心勿貝			財	原内	訳			予算書頁
	算			1/	12.673		国庫	県費	地方債	その他	一般財源		31 • 32
予		額			8 現計予算	199,018	15,793	16,210			110,670		継続
(人。		白石町総!がうるおし	合計画 \輝く豊穣の		基本計画 第 2 章	健やかで安心	ち【保健・福祉の	<b> </b>	画 社会保障 <i>0</i>	)充実			

国民健康保険特別会計繰出金のうち各繰出金に増減があったため補正する。

#### 2 事業内容

国民健康保険保険基盤安定繰出金(保険税軽減分) 実績増により増額補正

国民健康保険保険基盤安定繰出金(保険者支援分) 実績増により増額補正

財政支援繰出金

H30年4月の国保財政運営の都道府県単位化に向け、国保特会の赤字運営改善のため一般会計(一般財源)から財政支援を行う。

#### 3 補正予算額

国民健康保険保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)

見込額 当初予算額

78,484,710 円 - 67,400,000 円 = 11,084,710 円

国民健康保険保険基盤安定繰出金(保険者支援分)

見込額 当初予算額

50,987,958 円 - 19,400,000 円 = 31,587,958 円

財政支援繰出金 100,000,000 円

補正予算額計 142,672,668 円

区分		平成2	7年度 3.	月補正	会計	— 舟	<b>设会計</b>						<u>単位:千円</u>
款		2	項	1	目	8	細事業名	しろいし農業塾(地方創生加速化交付金事業) 所属 乃属					産業課
目	名	称		地域づく	り推進費	Ì		 財	源			-	予算書頁
		4-		2:	3,500		国庫	県費	地方債	その他	一般財源		27
予	算	額	本年度当初		現計予算	28,100	22,500				1,000		継続
(人		白石町総	合計画 い輝く豊穣 <i>0</i>		基本計画 5 3 章	活気と魅力の	ある豊かなまち	【産業の振興】	基本計 第 1	画 農林水産業	美の振興		

白石町の主要産業である農業の維持や農地の保全等の観点から新規就農者など担い手の確保は大きな課題である。白石町で就農及び移住してもらうために希望者を募集し、 白石地区農業振興協議会で受け入れ、農業研修生として農業全般に従事し、農業の担い手としての自立を目指す。又地域との関わりを持ち定住促進へと繋げるため「地域住民 生活等緊急支援交付金事業」で平成26年度補正事業から継続して取組む。今補正については、「地方創生加速化交付金」を充当する。

#### 2 事業変更内容

県外の地域から生活の拠点を移した者を農業研修生として農業団体等で受け入れ、農業研修生として支援を受けながら農業関係の研修に取り組み、農業による自立と地域への定着を図る。また、研修生の就農を支援するため、行政・JAなど関係団体が連携して取り組み、研修等に必要な経費の助成と指導・助言を行う。

- ・ 研修生(4人以内):20歳以上40歳未満の心身ともに健康で、白石町に住民票を異動出来る人、指導員(2人):町内在住で研修生への指導・助言等が出来る人 27年度体制:研修生4人、指導員2人
- ・ 研修後は白石町で農業経営をし、白石町における地域農業の担い手として農業を営む志のある人

#### 3 補正予算額

19節 しろいし農業塾事業補助金 23.500千円

区分	内容	積算内訳	区分	内容	積算内訳
共済費	社会保険·雇用保険料	131,000円/月×12ヶ月=1,572,000円	役務費	傷害(損害)保険	16,000円/年×4人=64,000円
賃 金	研修生·指導員賃金	170,000円×4人×12ヶ月=8,160,000円		口座振込手数料	6,600円/月×12ヶ月=80,000円
		120,000円×2人×12ヶ月=2,880,000円	委託料	健康診断	3,350円×6人=21,000円
報償費	受入れ農家謝礼	1,000円×4人×22日×12ヶ月=1,056,000円	使用料及	車両借上げ料	152,280円(4台)×12ヶ月=1,827,360円
旅費	研修生募集活動旅費	80,000円(東京2泊3日)×3人×4回=960,000円	び賃借料	研修生住居借上げ料	911,200円(初月敷金、仲介料・保険料等)
	研修旅費	県外研修2,000円×のべ10人×4回=80,000円			215,000円×11ヶ月=2,365,000円
需用費	募集チラシ印刷	36.5円×1,000枚×1.08×2回=79,000円		事務所借上げ料	10,800円×12ヶ月=129,600円
	募集PR用品	400円×50個=20,000円		会場借上げ料	研修会場借上げ50,000円×2回=100,000円
	研修用燃料代	400×138円×6人×12ヶ月=397,440円			募集会場借上げ100,000円×2回=200,000円
	事務用品等	140,400円		実習田借上げ料	18,000円/10a×10a=18,000円
	小農具等消耗品	150,000円		農機具リース料	150,000円
役務費	研修生募集広告料	新聞·雑誌·HP等掲載 1,500,000円		収納舎用プレハブリース料	184,000円
	リース車任意保険	6,350円×4台×12ヶ月=305,000円	備品購入	動力噴霧機・刈払機等	150,000円

#### 4 事業の効果

農業の担い手及び定住者の確保により、白石町農業の後継者不足の解消と定住人口の増加につながる。

区分		平成2	7年度 3	月補正	会計	<b>一</b> 点	股会計							単位:千円
款		2	項	1	目	8	細事業名	6次産品販路	2.扩大車	業(地方	創生加速ル	<b>亦付全事業</b> )	所属	産業課
	名	称		抽はつ	づくり推進費		神子大石		ロルハチ	<del>太</del> (地)		文刊亚事朱/	171万	<b>庄未</b> 脉
	П	ባጣ		地域の特定資				財	源	内	訳			予算書頁
	算	額			4,710		国庫	県費	地方	債	その他	一般財源		27
予			本年度当初		現計予算	<del>,</del>	4,000					710		新 規
	<u>ロボータョル</u> 白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)				基本計画				1	基本計画	1			
(人と					第 3 章	活気と魅力の	ある豊かなまち	【産業の振興】		第 1 節	農林水産第	美の振興 あんしゅう	)振興	

#### 1 目的

平成23年3月「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」(以下、「6次産業化・地産地消法」という。)が施行され、農村地域の活性化や食料の自給率向上などを目的に制定されました。本町産業の基軸である農業を持続し、発展させていくためには、農産物の生産に留まらず、加工や販売も併せた総合産業化を目指し、農家所得の向上や地域の活性化を図るため、26年度より「6次産業推進補助事業」を創設し、6次化を目指す農林漁業者等に支援し取組事業者も増加傾向にあります。

しかしながら、生産者が自ら商品開発・販路開拓していく上で専門的な知識やノウハウが少なく個々の事業者がそれぞれPRし、販路を拡大するのは大きな課題である。 このような課題を町全体で取組むため、事業者・金融機関・行政が連携し、『白石町6次産業推進協議会』を設置し、情報交換や研修会などを開催するとともに、さらなる販路拡大や消費者のニーズ等を継続的に収集する。また、事業者が取組む販路拡大のための商談会への参加や輸出に取組むための支援、事業者間同士の連携による商品開発などへの支援を行い、白石町ブランドの確立・地域産業の活性化を図る。

#### 2 事業内容

事業主体: 白石町6次産業推進協議会(仮称) 主な活動: 販路拡大関する情報交換、研修 商談会への参加(東京、福岡、熊本) 共同ギフト商品開発

#### 3 補正予算額

(単位:千円)

区	分	内容説明	予算額	備考
負担金、補助	及び交付金	6次産品販路拡大事業費補助金	4,710	
合	計		4,710	

#### 4 事業の効果

地域の資源を活用した農林漁業者等による新事業等の創出や地域の農林水産物の利用促進に関すること等を総合的に推進することで、農林漁業等の振興を図るとともに、地域の活性化を図ることができる。

区分		平成2	7年度 3	月補正	会計	— 舟	<b>设会計</b>						
款		6	項	1	目	3	細事業名		<b>佐設周芒笙</b>	中国公司	 ¥	所属	産業課
	日夕ま	<b>5</b> 5.		典 士:	業振興費		仙事未石	施設園芸等被害対策事業所属					<b>生未</b> 体
	目名称				<b>派</b>			財	源	訳		-	予算書頁
	算				4,229		国庫	県費	地方債	その他	一般財源		43
予		額		•	7,223			3,457	,		772		新規
			本年度当初	0	) 現計予算	0		0,407			112		か) グし
	白石町総合計画 基本計画 まると魅力の						ある豊かなまち	【産業の振興】	基本計	画 農林水産業	きの振興		
(人	(人と大地がうるおい輝く豊穣のまち) 第 3 章 だえと魅力のあ						のの音がみなり	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	第 1	節	€071/R <del>9€</del>		

1月下旬の降雪により、町内の園芸施設(ハウス)に倒壊するなどの被害があった。 被災したハウスの撤去と再建に要する費用を補助することにより、営農活動の早期再開と農家負担の軽減を図る。

#### 2 事業内容

- 〇 実施期間 平成27年度
- 〇 実施主体 農業者、農業者が組織する団体
- 実施概要 ①被災した園芸施設(ビニールハウス)等の撤去への補助
  - ② 園芸施設(ビニールハウス)等の再建への補助

- 〇 補助率
- ① 撤去への補助:県1/2、町1/2
- ② 再建への補助: 県1/2、町1/10、事業実施主体4/10

#### 3 予算額

19節 負担金、補助及び交付金

19即 貝担並、補助及び文刊並							財源内訳		
事業内容	品目名	受益戸数	受益面積	事業量	総事業費		備考		
<b>事未內</b> 谷	m = 1	(戸)	(a)	<b>学</b> 木里	(千円)	県補助金	町費	事業主体	川つ
撤去費用の補助	いちご、アスパラガス	6	18.1	1,814m <sup>2</sup>	203	102	101	0	
再建費用	いちご	3	8.1	812 <b>m</b> i	310	155	31	124	
再建費用	アスパラガス	3	10.0	1,002 m <sup>2</sup>	6,400	3,200	640	2,560	
合 計 (事業主体数 6)	_	12	36.3	-	6,913	3,457	772	2,684	
				AT (15		4.0	0.0		

予算額(県費+町費)=

4,229

#### 4 事業の効果

園芸施設を早期に復旧することができ、被害を受けた農業者の経営の安定化を図る。